

第1章 総括

第1節 平成28年度事業運営の特徴と課題

1. 各介護保険事業利用率の状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護老人 福祉施設	H28	93.1	97.3	97.8	99.0	94.8	95.4	95.1	92.5	94.1	96.7	97.1	98.5	95.9%
	H27	92.8	96.0	94.4	95.8	96.8	95.9	94.4	95.7	94.9	93.2	92.4	93.3	94.7%
短期入所 生活介護	H28	120.7	111.3	108.7	109.0	95.2	118.0	121.9	127.7	120.6	114.5	113.4	108.4	114.1%
	H27	131.3	123.5	120.0	115.5	113.9	110.7	110.6	110.3	113.5	130.3	131.7	122.3	119.4%
特養+短期 (施設計)	H28	95.8	98.6	98.8	99.9	94.8	97.6	97.7	96.0	96.7	98.4	99.1	99.5	97.7%
	H27	96.5	98.7	96.9	97.7	98.5	97.3	96.0	97.1	96.7	96.8	96.3	96.1	97.1%
通所介護	H28	71.9	75.9	83.8	80.8	76.6	78.1	83.3	83.1	79.2	76.4	79.4	79.3	79.0%
	H27	67.3	66.6	68.6	69.6	68.4	68.2	66.2	67.9	65.8	68.0	68.1	66.9	67.6%
認知症対応 型通所介護	H28	36.2	35.9	35.3	37.5	39.5	33.0	36.2	38.1	37.8	28.5	30.2	28.1	34.8%
	H27	41.7	43.3	42.0	41.0	40.7	42.3	42.3	46.7	40.7	33.3	38.0	38.9	40.9%
通所計	H28	62.8	65.7	71.4	69.7	67.1	66.6	71.3	71.2	68.6	64.2	66.8	66.1	67.6%
	H27	60.7	60.6	61.8	62.3	61.3	61.6	60.1	62.5	59.4	59.1	60.4	59.7	60.8%
地域包括 (介護予防)	H28	272	276	280	281	277	272	275	256	243	228	212	192	255.3件
	H28	総合事業プラン		-	-	-	-	4	12	32	46	53	67	35.6件
	H27	269	263	266	259	270	261	265	269	274	269	266	275	267.2件
訪問介護	H28	1096	1120	1099	1055	1127	1092	1100	1042	1080	970	986	1075	1070.5h
	H27	1183	1170	1195	1215	1114	1183	1182	1052	1158	1021	1066	1180	1143.3h
居宅介護 支援	H28	153	155	157	167	162	168	165	163	155	156	155	153	159.0件
	H28	総合事業プラン		-	-	-	-	0	1	3	3	4	5	3.2件
	H27	157	156	160	158	155	155	158	157	154	151	152	155	155.6件

※介護老人福祉施設以外の事業においては介護予防の事業も併せて実施。

※訪問介護の数字は、派遣時間数、居宅介護支援及び地域包括の数字は、ケアプラン作成件数を表示。

※居宅介護支援の総合事業プラン数平均は6ヶ月間の平均を表示。

2. 平成28年度の運営状況の特徴と次年度へ向けた課題

平成28年度は建物、設備等の大規模修繕の年となりました。東京都と何度か協議を重ね、補助金の対象となり実施に至りました。

小金井市では年度途中である平成28年10月から介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。しかし、現状介護保険をご利用されていた方々は要支援・要介護の認定更新時に移行する五月雨式を採用しているため、各事業所では混乱が生まれました。

小金井市介護事業所連絡会を通して、保険者である小金井市からの説明を受けながらの開始でしたが、現状でも複雑でわかりにくい部分が多く、次年度より事業として今後成り立つか見極めなければならないと感じています。

(1) 施設サービス部（介護老人福祉施設＋短期入所生活介護）

特養の一年間の退所者数は 22 名と昨年度より 1 名減少しました。定員 93 名が揃った月（入退所がない月）は 7 月の 1 ヶ月のみであり、毎月入退所があり、在園期間が年々短くなっています。

更に入院された場合退院調整に時間を要しました。

看取り介護については、医師の協力のもと実施し、13 名の方が施設内で看取ることができました。

家族向けの学びの会を実施し、イメージがよりご家族にも伝わったと感想をいただきました。

前年度に比べ特養が安定することで短期入所の稼働は減少しますが、入退所業務が軽減され、介護業務に専念する時間を持つことが出来ました。引き続き生活相談員を 3 名体制とし更なる安定稼働につなげるのが課題となります。

(2) 地域サービス部

①通所介護事業

通常規模の一般型は前年度に比べ、稼働が 12.4%増加しました。近隣に新しい通所介護事業所ができましたが、何とか当施設の良さもお伝えすることができつつあります。

認知症対応型は残念ながら長年お使いいただいた方がお亡くなりになり、新規利用者の方がなかなかつながりません。H29 年度は一旦事業を休止することとなりました。

当センターでは緩和型サービス＝市基準サービス（独自）3 時間未満を新たに 15 名定員で開設しました。軽度の方への対応が可能となりました。

②地域包括支援センター

様々な事業が求められ、それぞれの担当職員だけではできにくい内容となり、課内の職員が協力をしあつての事業運営となりました。地域包括ケアシステム構築が求められ多くの地域住民の方々と接する機会が増えています。

介護予防日常生活支援総合事業は、従来の介護予防支援に加え介護予防ケアマネジメントとなり、移行に伴い区別がつきにくい形でのスタートとなりました。

③訪問介護事業所

昨年度に引き続き働き手となる登録型の訪問介護員が安定しない年となりました。その為、稼働時間が減少しています。サービス提供責任者が現場でのサービスを行う時間が多くなっています。

当事業所としては小金井市とも協議し、介護予防日常生活支援総合事業所（市基準サービス）として登録をしました。当初は現状利用されているご利用者のみとし枠を広げないこととしましたが、市内の事業所で登録している事業所が少なく、居宅介護支援事業所からご紹介がくるのが市基準サービスを利用する方々が多くなっている現状があります。経営的に非常に厳しい状態となりました。

④居宅介護支援事業所

昨年度に引き続きプラン件数は増加しています。新規契約件数も多い年でしたが、担当になっても入退院を繰り返す方、急な死亡等で入れ替わりが多い年となりました。

年々多くなる事務作業ですが、書類整備方法を見直すなどして効率化を図りながら、援助計画を見直す機会も部署内で持ちました。次年度も引き続き事業所としての更なる質の向上に努めたいと考えます。